

7 その他全般的事項

<人間健康学部>

(1) 設置計画変更事項等

<総合子ども学科>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																																				
<p>2 授業科目の概要</p> <p>(1) 一① 授業科目表</p> <p>卒業要件及び履修方法</p> <p>・卒業要件</p> <p>共通教育科目24単位以上、専門教育科目から100単位以上、合計124単位以上を修得し、卒業審査に合格すること。</p> <p>ただし、周辺科目はこれに含まない。</p> <p>履修科目の登録の上限：1～3年次48単位（年間）、 4年次44単位（年間）</p> <p>ただし、保育インターンシップ、保育実習、教育実習及び自由科目はこれに含めない。</p> <p>・履修方法</p> <table border="0"> <tr> <td>共通教育科目（基礎科目 外国語科目）</td> <td>8単位</td> </tr> <tr> <td>共通教育科目（基礎科目 健康・スポーツ科学科目）</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>共通教育科目（基礎科目 情報教育科目）</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>共通教育科目全体より</td> <td>12単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（専門入門科目）</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（専門演習科目）</td> <td>16単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（卒業論文）</td> <td>4単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（専門基礎科目）</td> <td>4単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（基幹科目 保育・教育基礎科目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td> A類（教職）10単位 B類（保育）4単位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（基幹科目 保育・教育内容・方法科目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td> A類（教職）22単位 B類（保育）2単位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（基幹科目 保育・教育技能科目）</td> <td>4単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（基幹科目 保育・教育実習科目）</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（展開科目 展開コア科目）</td> <td>10単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（展開科目 A群・B群・C群のいずれかより）</td> <td>8単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目全体より</td> <td>12単位</td> </tr> </table> <p>合計124単位以上を修得すること。（29）</p>	共通教育科目（基礎科目 外国語科目）	8単位	共通教育科目（基礎科目 健康・スポーツ科学科目）	2単位	共通教育科目（基礎科目 情報教育科目）	2単位	共通教育科目全体より	12単位	専門教育科目（専門入門科目）	2単位	専門教育科目（専門演習科目）	16単位	専門教育科目（卒業論文）	4単位	専門教育科目（専門基礎科目）	4単位	専門教育科目（基幹科目 保育・教育基礎科目）		A類（教職）10単位 B類（保育）4単位		専門教育科目（基幹科目 保育・教育内容・方法科目）		A類（教職）22単位 B類（保育）2単位		専門教育科目（基幹科目 保育・教育技能科目）	4単位	専門教育科目（基幹科目 保育・教育実習科目）	2単位	専門教育科目（展開科目 展開コア科目）	10単位	専門教育科目（展開科目 A群・B群・C群のいずれかより）	8単位	専門教育科目全体より	12単位	<p>厚生労働省からの通達に基づき、保育士養成課程を見直し、平成31年度入学生より、総合子ども学科の授業科目の概要を変更した。卒業要件及び履修方法は以下のとおり。</p> <p>また、授業科目の概要については、別紙に対照表を添付。</p> <p>卒業要件及び履修方法</p> <p>・卒業要件</p> <p>共通教育科目24単位以上、専門教育科目から100単位以上、合計124単位以上を修得し、卒業審査に合格すること。</p> <p>ただし、周辺科目はこれに含まない。</p> <p>履修科目の登録の上限：1～3年次48単位（年間）、 4年次44単位（年間）</p> <p>ただし、保育インターンシップ、保育実習、教育実習及び自由科目はこれに含めない。</p> <p>・履修方法</p> <table border="0"> <tr> <td>共通教育科目（基礎科目 外国語科目）</td> <td>8単位</td> </tr> <tr> <td>共通教育科目（基礎科目 健康・スポーツ科学科目）</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>共通教育科目（基礎科目 情報教育科目）</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>共通教育科目全体より</td> <td>12単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（専門入門科目）</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（専門演習科目）</td> <td>16単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（卒業論文）</td> <td>4単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（専門基礎科目）</td> <td>4単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（基幹科目 保育・教育基礎科目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td> A類（教職）6単位 B類（保育）4単位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（基幹科目 保育・教育方法科目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td> A類（教職）20単位 B類（保育）4単位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（基幹科目 保育・教育内容科目）</td> <td>6単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（基幹科目 保育・教育実習科目）</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（展開科目 展開コア科目）</td> <td>10単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目（展開科目 A群・B群・C群のいずれかより）</td> <td>8単位</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目全体より</td> <td>14単位</td> </tr> </table> <p>合計124単位以上を修得すること。（元）</p>	共通教育科目（基礎科目 外国語科目）	8単位	共通教育科目（基礎科目 健康・スポーツ科学科目）	2単位	共通教育科目（基礎科目 情報教育科目）	2単位	共通教育科目全体より	12単位	専門教育科目（専門入門科目）	2単位	専門教育科目（専門演習科目）	16単位	専門教育科目（卒業論文）	4単位	専門教育科目（専門基礎科目）	4単位	専門教育科目（基幹科目 保育・教育基礎科目）		A類（教職）6単位 B類（保育）4単位		専門教育科目（基幹科目 保育・教育方法科目）		A類（教職）20単位 B類（保育）4単位		専門教育科目（基幹科目 保育・教育内容科目）	6単位	専門教育科目（基幹科目 保育・教育実習科目）	2単位	専門教育科目（展開科目 展開コア科目）	10単位	専門教育科目（展開科目 A群・B群・C群のいずれかより）	8単位	専門教育科目全体より	14単位
共通教育科目（基礎科目 外国語科目）	8単位																																																																				
共通教育科目（基礎科目 健康・スポーツ科学科目）	2単位																																																																				
共通教育科目（基礎科目 情報教育科目）	2単位																																																																				
共通教育科目全体より	12単位																																																																				
専門教育科目（専門入門科目）	2単位																																																																				
専門教育科目（専門演習科目）	16単位																																																																				
専門教育科目（卒業論文）	4単位																																																																				
専門教育科目（専門基礎科目）	4単位																																																																				
専門教育科目（基幹科目 保育・教育基礎科目）																																																																					
A類（教職）10単位 B類（保育）4単位																																																																					
専門教育科目（基幹科目 保育・教育内容・方法科目）																																																																					
A類（教職）22単位 B類（保育）2単位																																																																					
専門教育科目（基幹科目 保育・教育技能科目）	4単位																																																																				
専門教育科目（基幹科目 保育・教育実習科目）	2単位																																																																				
専門教育科目（展開科目 展開コア科目）	10単位																																																																				
専門教育科目（展開科目 A群・B群・C群のいずれかより）	8単位																																																																				
専門教育科目全体より	12単位																																																																				
共通教育科目（基礎科目 外国語科目）	8単位																																																																				
共通教育科目（基礎科目 健康・スポーツ科学科目）	2単位																																																																				
共通教育科目（基礎科目 情報教育科目）	2単位																																																																				
共通教育科目全体より	12単位																																																																				
専門教育科目（専門入門科目）	2単位																																																																				
専門教育科目（専門演習科目）	16単位																																																																				
専門教育科目（卒業論文）	4単位																																																																				
専門教育科目（専門基礎科目）	4単位																																																																				
専門教育科目（基幹科目 保育・教育基礎科目）																																																																					
A類（教職）6単位 B類（保育）4単位																																																																					
専門教育科目（基幹科目 保育・教育方法科目）																																																																					
A類（教職）20単位 B類（保育）4単位																																																																					
専門教育科目（基幹科目 保育・教育内容科目）	6単位																																																																				
専門教育科目（基幹科目 保育・教育実習科目）	2単位																																																																				
専門教育科目（展開科目 展開コア科目）	10単位																																																																				
専門教育科目（展開科目 A群・B群・C群のいずれかより）	8単位																																																																				
専門教育科目全体より	14単位																																																																				

<総合子ども学科>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>8-2. 選抜方法及び募集人員</p> <p>(1) 一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、3月入学試験 (29)</p> <p>大学入試センター試験利用入学試験では、大学入試センター試験における試験結果を利用して志願者の資質・能力を判定することとし、本学個別の学力試験は行わない。(30)</p>	<p>(1) 多様な受験生の志願を得るためにセンタープラス入学試験を左記入学試験に加えて新設する。</p> <p>出願資格は、一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、3月入学試験と同様に別紙のとおりとする。</p> <p>一般入学試験とセンター試験における各試験の高得点2教科2科目の合計点で合否判定を行う。試験科目は、別紙参照。</p> <p>受験機会を増やすために文系学部統一入学試験の受験回数を1回から2回へ増やす。</p> <p>一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、センタープラス入学試験、3月入学試験における募集定員は32名とする。(29)</p> <p>大学入試センター試験の得点を利用する入試制度(センタープラス入学試験、大学入試センター試験利用入学試験)において、英語の資格・検定試験の得点等を大学入試センター試験の「英語(リスニングを含む)」のみなし得点に換算し、合否判定を受けることができる制度を導入する。(30)</p>

<スポーツ医科学科>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>8-2. 選抜方法及び募集人員</p> <p>(1) 一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、3月入学試験 (29)</p> <p>大学入試センター試験利用入学試験では、大学入試センター試験における試験結果を利用して志願者の資質・能力を判定することとし、本学個別の学力試験は行わない。(30)</p>	<p>(1) 多様な受験生の志願を得るためにセンタープラス入学試験を左記入学試験に加えて新設する。</p> <p>出願資格は、一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、3月入学試験と同様に別紙のとおりとする。</p> <p>一般入学試験とセンター試験における各試験の高得点2教科2科目の合計点で合否判定を行う。試験科目は、別紙参照。</p> <p>受験機会を増やすために文系学部統一入学試験の受験回数を1回から2回へ増やす。</p> <p>一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、センタープラス入学試験、3月入学試験における募集定員は40名とする。(29)</p> <p>大学入試センター試験の得点を利用する入試制度(センタープラス入学試験、大学入試センター試験利用入学試験)において、英語の資格・検定試験の得点等を大学入試センター試験の「英語(リスニングを含む)」のみなし得点に換算し、合否判定を受けることができる制度を導入する。(30)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
学部内に常設の学部FD委員会を設置している。
構成員は、教務委員長・2学科から選出された委員(各2名)・学部長が指名する教員。
平成29年6月1日付けにて、人間健康学部FD委員会規程(別添資料)を整備。
 - b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
毎月1回の定例で開催している。
 - c 委員会の審議事項等
シラバスチェック、授業評価アンケート、学修シラバスブック及びガイドブック修正、
学部・学科共通授業改善、非常勤講師への意見聴取など
- ② 実施状況
- a 実施内容
人間健康学部の理念及び教育方針の則り、シラバスチェックシートを用いた修正依頼、
授業評価アンケートの実施・公開、授業評価アンケート結果により授業改善勧告・表彰、
FD研修会の開催(HPIについて、学部研究プロジェクトについて、学部共通オムニバス授業について)、
非常勤講師への意見聴取アンケートの実施、自己点検評価など
 - b 実施方法
紙面による修正依頼、学生・教員を対象とした授業昇華アンケート調査、HPIによる結果の公表、
教員を対象とした集合型FD研修会の開催など
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)
シラバスチェック:1回/年 授業評価アンケート実施・公開・表彰:2回/年
集合型FD研修会:4回/年 非常勤講師への意見聴取:1回/年
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
集合型FD研修会および非常勤講師への意見聴取で、学修ガイドブック、学修シラバスブックに対する
意見があり、また授業の進め方についての質問・意見があったため、前項については、既に改善のため
の見直しを開始している。また、後項については申し合わせ等の作成に着手している。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
授業評価アンケート実施有
【平成29年度実施時期】前期:7月3日(月)~7月28日(金)後期:12月6日(水)~1月16日(火)
【平成30年度実施時期】前期:7月2日(月)~7月27日(金)後期:12月6日(木)~1月23日(水)
 - b 教員や学生への公開状況, 方法等
教員へは、拡大教授会において、情報公開し、学部長より表彰を行った。
学生へは、学部HPにおいて、情報公開を行った。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
本学は、従前より、自己点検・評価の内部質保証を構築し有効に機能させるため、自己点検・評価を担う階層単位の委員会組織を構築し、改善・改革の方策を検討・提起している。人間健康学部についても、平成29年度より自己点検・評価の対象組織とした上で、改善活動を行っている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
毎年度当初に前々年度の報告書を公表しており、平成31年4月末日時点にて平成29年度分までを提示。
- b 公表方法
上記公表（予定）時期に大学ホームページ上に公開。
- ③ 認証評価を受ける計画
令和2年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和 2 年 5 月 1 日)
- b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	社会科学分野	法学Ⅰ	1前・後	2							兼1
		法学Ⅱ	1後	2							兼1
		日本国憲法	1後	2							兼1
		経済学Ⅰ	1前	2							兼1
		経済学Ⅱ	1後	2							兼1
		政治学Ⅰ	1前	2							兼1
		政治学Ⅱ	1後	2							兼1
		社会学Ⅰ	1前	2							兼2
		社会学Ⅱ	1後	2							兼2
		現代の世界	1前	2							兼1
		現代の日本	1後	2							兼1
		心理学	1前・後	2							兼2
		日本の政治経済Ⅰ	1前	2							兼1
		日本の政治経済Ⅱ	1後	2							兼1
共通教育科目	キャリア教育	大学とキャリア	1前	2							兼3
		社会とキャリア	1後	2							兼1
		仕事とキャリア	2前	2							兼1
		キャリア・フィールドワーク	3後	4							兼1
		キャリア・プロジェクト	3後	2							兼1
		インターンシップ	2通	4							兼1
		ディベート	2前・後/2時	2							兼2
		キャリア特講	3前・後	2							兼2
		判断推理	1前	2							兼1
		数的推理	1後	2							兼1
		応用判断推理	2前	2							兼1
		応用数的推理	2後	2							兼1
		公共特別演習Ⅰ	2前	2							兼1
		公共特別演習Ⅱ	2後	2							兼1
		公共特講(法律系)Ⅰ	3前	2							兼1
		公共特講(法律系)Ⅱ	3後	2							兼1
		公共特講(経済系)Ⅰ	3前	2							兼1
		公共特講(経済系)Ⅱ	3後	2							兼1
		アカデミックサポーター養成講座Ⅰ	3前	2							兼1
		アカデミックサポーター養成講座Ⅱ	3後	2							兼1
地域学	久留米学(歴史と環境)	1前	2							兼2	
	久留米学(文化と社会)	1後	2							兼6	
	久留米・筑後体験演習	1前・後	2							兼2	
	地域学演習Ⅰ	2前	2							兼1	
	地域学演習Ⅱ	2後	2							兼1	
	地域人材育成実習演習	1通	2							兼1	
	地域連携実践演習	2前・後	2							兼2	
	医療と社会	1後	2							兼7	
いのちの対話	1休	2							兼1		
いのちの倫理	1前	2							兼1		
職業の倫理	1後	2							兼1		
環境の倫理	1前	2							兼1		
学部共通科目	人間健康学入門	1前	2		4	3				兼7	
	演習ⅠA	1前	2		2	2	1				
	演習ⅠB	1後	2		2	1		1			
	演習ⅡA	2前	2		2	1		1			
	演習ⅡB	2後	2		2	2	1				
	演習Ⅲ	3通	4		4	3	1				
	演習Ⅳ	4通	4		4	3	1				
	卒業研究	4通	4		4	3	1				

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	社会科学分野	法学Ⅰ	1前・後	2							兼1
		法学Ⅱ	1後	2							兼1
		日本国憲法	1後	2							兼1
		経済学Ⅰ	1前	2							兼1
		経済学Ⅱ	1後	2							兼1
		政治学Ⅰ	1前	2							兼1
		政治学Ⅱ	1後	2							兼1
		社会学Ⅰ	1前	2							兼2
		社会学Ⅱ	1後	2							兼2
		現代の世界(未開講)	1前	2							
		現代の日本(未開講)	1後	2							
		心理学	1前・後	2							兼2
		日本の政治経済Ⅰ	1前	2							兼1
		日本の政治経済Ⅱ	1後	2							兼1
ジャーナリズム論Ⅰ	1前	2							兼1		
ジャーナリズム論Ⅱ	1後	2							兼1		
共通教育科目	キャリア教育	大学とキャリア	1前	2							兼3
		社会とキャリア	1後	2							兼1
		仕事とキャリア	2前	2							兼1
		キャリア・フィールドワーク	2後	4							兼1
		キャリア・プロジェクト	3後	2							兼1
		インターンシップ	1通	4							兼1
		ディベート	2前・後/2時	2							兼2
		キャリア特講	2前・後	2							兼1
		判断推理	1前	2							兼1
		数的推理	1後	2							兼1
		応用判断推理	2前	2							兼1
		応用数的推理	2後	2							兼1
		公共特別演習Ⅰ	2前	2							兼1
		公共特別演習Ⅱ	2後	2							兼1
		公共特講(法律系)Ⅰ	2前	2							兼1
		公共特講(法律系)Ⅱ	2後	2							兼1
		公共特講(経済系)Ⅰ	2前	2							兼1
		公共特講(経済系)Ⅱ	2後	2							兼1
		アカデミックサポーター養成講座Ⅰ	2前	2							兼2
		アカデミックサポーター養成講座Ⅱ	2後	2							兼2
グローバル・キャリア	1後	2							兼1		
地域学	久留米学(歴史と環境)	1前	2							兼2	
	久留米学(文化と社会)	1後	2							兼6	
	久留米・筑後体験演習	1前・後	2							兼2	
	地域学演習Ⅰ	2前	2							兼2	
	地域学演習Ⅱ	2後	2							兼2	
	地域人材育成実習演習(中止)	1通	2								
	地域連携実践演習	2前・後	2							兼2	
	地域連携特講	1休	2							兼2	
地域体験演習(まちおこしを考える)	1休	2							兼1		
医療と社会	人権入門	1後	2							兼7	
	いのちの対話	1休	2							兼1	
	いのちの倫理	1前	2							兼1	
	職業の倫理	1前	2							兼1	
	環境の倫理	1後	2							兼1	
学部共通科目	人間健康学入門	1前	2		5	2				兼7	
	演習ⅠA	1前	2		5	2	1	1			
	演習ⅠB	1後	2		2	0	1	1			
	演習ⅡA	2前	2		3	0		1			
	演習ⅡB	2後	2		2	2	1				
	演習Ⅲ	3通	4		5	2	1				
	演習Ⅳ	4通	4		5	2	1				
	卒業研究	4通	4		5	2	1				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	対人コミュニケーション論	1前	2								兼1
	医学総論	1前	2								兼10
	スポーツ医科学概論	1前	2								兼10
	からだのしくみ	1前	2								兼3
	基礎スポーツ医科学	1後	2								兼3
	ユニバーサルデザイン論	1後	2		1						
	発達支援論Ⅰ	1後	2		1						
	子ども社会学	1後	2			1					
	応用スポーツ医科学	2前	2								兼2
	青少年問題の社会学	2休	2								兼1
レクリエーション論	2後	2								兼1	
専門基礎科目	教育の本質(幼)	1後	2								兼1
	保育・教職の意義	1前	2		1						
	発達と学習の心理(幼)	2前	2			1					
	教育の制度と行政(幼)	3前	2								兼1
	保育と教育の心理	3後	2			1					
	保育・教職実践演習	4後	2		2	1					
	保育原理	1前	2			1					兼1
	養護原理	1後	2								兼1
	社会福祉学概論(保)	1前	2								兼1
	社会福祉援助技術演習(保)	1後	2				1				
	子どもの保健ⅠA	2前	2								兼1
	子どもの保健ⅠB	2後	2								兼1
	児童福祉論(保)	3前	2								兼1
	子どもの保健Ⅱ	3前	2								兼1
	子どもの食と栄養	3後	2								兼1
専門教育科目	音楽理論	1後	2			1					
	保育内容(健康)	2前	2			1					兼1
	保育内容(人間関係)	3前	2				1				兼1
	保育内容(環境)	2後	2				1				兼1
	保育内容(言葉)	3前	2								兼1
	保育内容(表現Ⅰ)	2前	2								兼1
	保育内容(表現Ⅱ)	2後	2			1					
	保育内容総論	2前	2			1					兼1
	保育・教育課程論	2後	2								兼1
	教育方法論(幼)	2後	2								兼1
	子どもと生活	3前	2				1				
	幼児理解の理論と方法	2休	2								兼1
	児童文学	3休	2								兼1
	乳児保育	2前	2								兼1
	障がい児保育Ⅰ	2後	2			1					
家庭支援論	3後	2			1						
養護内容論	3前	2								兼1	
保育相談支援	3後	2			1						
学科学専攻科目	図画工作Ⅰ	1後	1								兼1
	児童文化財の研究	1前	1								兼1
	器楽Ⅰ	2前	1			1					兼4
	幼児体育Ⅰ	2前	1			1					兼1
	声楽	2後	1								兼1
	図画工作Ⅱ	3前	1								兼1
	器楽Ⅱ	3後	1			1					兼2
	幼児体育Ⅱ	3後	1			1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	対人コミュニケーション論	1前	2								兼1
	医学総論	1前	2								兼10
	スポーツ医科学概論	1前	2								兼11
	からだのしくみ	1前	2								兼3
	基礎スポーツ医科学	1後	2								兼3
	ユニバーサルデザイン論	1後	2		1						
	発達支援論Ⅰ	1後	2		1						
	子ども社会学	1後	2			1					
	応用スポーツ医科学	2前	2								兼2
	青少年問題の社会学	2休	2								兼1
レクリエーション論	2後	2								兼1	
専門基礎科目	教育の本質(幼)	1後	2								兼1
	保育・教職の意義	1前	2		1						
	発達と学習の心理(幼)	2後	2			1					
	教育の制度と行政(幼)	3休	2								兼1
	(廃止)										
	保育・教職実践演習	4後	2		2	1					
	保育原理	1前	2			1					兼1
	養護原理	1後	2								兼1
	社会福祉学概論(保)	1前	2								兼1
	子ども家庭支援論	3後	2				1				
	子どもの保健	2前	2								兼1
	(廃止)										
	児童福祉論(保)	3前	2								兼1
	(廃止)										
	子どもの食と栄養	3後	2								兼1
子ども家庭支援の心理学	3後	2				1					
専門教育科目	(廃止)										
	保育内容(健康)	2前	2			1					兼1
	保育内容(人間関係)	3前	2								兼1
	保育内容(環境)	2後	2				1				兼1
	保育内容(言葉)	3前	2								兼1
	保育内容(表現Ⅰ)	2前	2								兼1
	保育内容(表現Ⅱ)	2後	2			1					
	保育内容総論	2前	2			1					兼1
	保育・教育課程論	2前	2								兼1
	教育方法論(幼)	2後	2			1	1				
	(廃止)										
	幼児理解の理論と方法	2休	2								兼1
	(廃止)										
	特別支援教育概論(幼)	2後	2				1				
	乳児保育Ⅰ	2前	2								兼1
乳児保育Ⅱ	2後	2								兼1	
(廃止)											
(廃止)											
子どもの健康と安全	2後	2								兼1	
養護内容論	3前	2								兼1	
子育て支援の方法	3後	1						1			
幼児理解と援助の方法	3前	2								兼1	
学科学専攻科目	子どもと言葉	1前	1								兼1
	子どもと表現Ⅰ	1後	1								兼1
	子どもと健康	2前	1			1					兼1
	子どもと人間関係	2後	1								兼1
	子どもと環境	2後	1				1				
	子どもと表現ⅡA	2前	1			1					
	子どもと表現ⅡB	2後	1								兼1
	保育の表現技術(図画工作)	3前	1				1				兼1
保育の表現技術(器楽)	3後	1				1					
保育の表現技術(幼児体育)	3後	1				1					

卒業要件及び履修方法	
<p>・卒業要件 共通教育科目24単位以上、専門教育科目から100単位以上、合計124単位以上を修得し、卒業審査に合格すること。ただし、周辺科目はこれに含まない。 履修科目の登録の上限：1～3年次48単位(年間)、4年次 44単位(年間) ただし、保育インターンシップ、保育実習、教育実習及び自由科目はこれに含めない。</p>	
<p>・履修方法</p>	
共通教育科目(基礎科目 外国語科目)	8単位
共通教育科目(基礎科目 健康・スポーツ科学科目)	2単位
共通教育科目(基礎科目 情報教育科目)	2単位
共通教育科目全体より	12単位
専門教育科目(専門入門科目)	2単位
専門教育科目(専門演習科目)	16単位
専門教育科目(卒業論文)	4単位
専門教育科目(専門基礎科目)	4単位
専門教育科目(基幹科目 保育・教育基礎科目) A類(教職)	10単位
B類(保育)	4単位
専門教育科目(基幹科目 保育・教育内容・方法科目)A類(教職)	22単位
B類(保育)	2単位
専門教育科目(基幹科目 保育・教育技能科目)	4単位
専門教育科目(基幹科目 保育・教育実習科目)	2単位
専門教育科目(展開科目 展開コア科目)	10単位
専門教育科目(展開科目 A群・B群・C群のいずれかより)	8単位
専門教育科目全体より	12単位
合計124単位以上を修得すること。	

卒業要件及び履修方法	
<p>・卒業要件 共通教育科目24単位以上、専門教育科目から100単位以上、合計124単位以上を修得し、卒業審査に合格すること。ただし、周辺科目はこれに含まない。 履修科目の登録の上限：1～3年次48単位(年間)、4年次 44単位(年間) ただし、保育インターンシップ、保育実習、教育実習及び自由科目はこれに含めない。</p>	
<p>・履修方法</p>	
共通教育科目(基礎科目 外国語科目)	8単位
共通教育科目(基礎科目 健康・スポーツ科学科目)	2単位
共通教育科目(基礎科目 情報教育科目)	2単位
共通教育科目全体より	12単位
専門教育科目(専門入門科目)	2単位
専門教育科目(専門演習科目)	16単位
専門教育科目(卒業論文)	4単位
専門教育科目(専門基礎科目)	4単位
専門教育科目(基幹科目 保育・教育基礎科目) A類(教職)	6単位
B類(保育)	4単位
専門教育科目(基幹科目 保育・教育方法科目) A類(教職)	20単位
B類(保育)	4単位
専門教育科目(基幹科目 保育・教育内容科目)	6単位
専門教育科目(基幹科目 保育・教育実習科目)	2単位
専門教育科目(展開科目 展開コア科目)	10単位
専門教育科目(展開科目 A群・B群・C群のいずれかより)	8単位
専門教育科目全体より	14単位
合計124単位以上を修得すること。	

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- 共通教育科目の変更点については、2(1)-(2)(総合子ども学科)と同様であるため、省略。
- 平成31年度入学生より施行される、保育士養成課程の改定に伴い、以下のとおり変更。
 - 「社会福祉援助技術演習(保)」 「子どもの保健IB」 「子どもの保健II」 「家庭支援論」 「児童文化財の研究」 「保育と教育の心理」 「図画工作I」 「器楽I」 「幼児体育I」 「声楽」を削除。
 - 「子どもの保健IA」から「子どもの保健」、 「乳児保育」から「乳児保育II」、 「保育相談支援」から「子育て支援の方法」、 「障がい児保育I」から「特別支援教育概論(幼)」、 「障がい児保育II」から「特別支援教育各論」、 「器楽II」から「保育の表現技術(器楽)」、 「図画工作II」から「保育の表現技術(図画工作)」、 「幼児体育II」から「保育の表現技術(幼児体育)」へ科目名称変更。
 - 「子ども家庭支援論」 「子ども家庭支援の心理学」 「乳児保育I」 「子どもの健康と安全」 「幼児理解の援助と方法」 「子どもと言葉」 「子どもと表現I」 「子どもと人間関係」 「子どもと環境」 「子どもと表現IIA」 「子どもと表現IIB」を新設。
 - 法定の区分および単位数が変更となったことに伴い、卒業に必要な単位数の内訳と区分名称を変更。

○センタープラス入試、大学入試センター試験利用入試(A・B日程)において

英語の資格・検定試験の活用制度を導入

- ◆大学入試センター試験の得点を利用する入試制度において、英語の資格・検定試験の得点等を大学入試センター試験の「英語（リスニングを含む）」のみなし得点に換算し、合否判定を受けることができる制度を導入
- ◆以下の英語の資格・検定試験において、基準以上の得点や級等を有している場合、大学入試センター試験の「英語（リスニングを含む）」を受験する必要はないが、受験した場合は換算したみなし得点と比べて、高い方の得点で合否判定を受けることが可能

みなし 得点	ケンブリッジ 英検	実用英語技能 検定(英検)	GTEC CBT	IELTS (Academic)	TEAP (R/L+W+S)	TOEFL iBT	TOEFL Junior Comprehensive	TOEFL L&R/ TOEIC S&W
満点	160 以上	準 1 級 以上	1250 以上	5.5 以上	334 以上	72 以上	341 以上	L&R785 以上 かつ S&W310 以上
8 割	140 以上 160 未満	2 級	1000 以上 1250 未満	4.0 以上 5.5 未満	226 以上 334 未満	42 以上 72 未満	322 以上 341 未満	L&R550 以上 かつ S&W240 以上

※得点や級等は 2016 年度以降に受験したものを有効とする。

※上表 4 技能の資格・検定試験が点数換算の対象（CEFL B1、B2 以上が対象）となる。

※資格・検定試験主催団体が内容・難易度等を変更した場合は、上表が変更される場合がある。（出願時に本学ホームページにて確認すること）

※資格・検定試験は出願資格ではない。

※出願時に、各種検定試験等の得点や級等を証明する証明書が必要。（コピー可。証明書は返却しない）

※詳細は、学生募集要項で必ず確認すること。

【対象となる入試制度】

- ・センタープラス入試
- ・大学入試センター試験利用入試（A 日程）
- ・大学入試センター試験利用入試（B 日程）

【対象となる学部・学科（専攻）】

- ・文学部 心理学科、情報社会学科、国際文化学科英語コミュニケーション専攻、国際文化学科国際文化専攻、社会福祉学科
- ・人間健康学部 総合子ども学科、スポーツ医科学科 ・法学部 ・経済学部 ・商学部

■ センタープラス入学試験

〈人間健康学部 総合子ども学科・スポーツ医科学科〉

1 出願資格

下記の項目のいずれかに該当する者

- 1 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）卒業者および入学試験実施年の3月に卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および入学試験実施年の3月に修了見込みの者
- 3 文部科学省令により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および入学試験実施年の3月31日までにこれに該当する見込みの者

2 試験科目

	教科	科目	
一般入試	国語	国語総合	2教科 2科目
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、 英語表現Ⅰ、Ⅱ	
	選択科目	政治・経済、日本史B、世界史B、地理B、 数学Ⅰ・Ⅱから1科目選択	
大学入試センター試験	国語	国語	2教科 2科目
	外国語	英語（リスニングを含む）、 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目	
	地理歴史 ・公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、 「倫理、政治・経済」から1科目	
	数 学	数学①（数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A）、 数学②（数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B）から1科目	
	理 科	理科①（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）、 理科②（物理、化学、生物、地学）から1科目	

○人間健康学部FD委員会規程

(設置)

第1条 人間健康学部が、その理念及び教育目標に基づいて行う授業並びに研究指導の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を実施することを目的として、人間健康学部人間健康学部FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(定義)

第2条 この規程において「FD」とは、Faculty Developmentの略称であって、人間健康学部において教員が主体的かつ組織的に教育を改善し、向上させるための活動をいう。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 教務委員長
- (3) 各学科から選出された専任教育職員 各1名
- (4) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第3号及び4号に規定する委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会)

第4条 委員会に委員長を置き、学部長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 4 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長が決する。
- 5 委員長は、必要に応じ委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 6 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。

(審議事項等)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議し、必要に応じて人間健康学部教

務委員会及び拡大教授会に当該結果を報告又は提言するものとする。

- (1) 人間健康学部におけるFD活動に係る計画の策定及び実施に関する事項
- (2) 人間健康学部におけるFD活動に係る検証及び評価に関する事項
- (3) FD活動に係る全学FD・SD検討委員会から諮問された事項
- (4) FD活動に係る情報の収集及び提供に関する事項
- (5) ガイドブックの改善及びシラバスのチェックに係る組織的な活動に関する

事項

- (6) 授業方法の改善及び授業評価の活用に関する事項
- (7) 学外者（卒業生を含む。）によるFDの評価に関する事項
- (8) SD(staff development)活動との連携に関する事項
- (9) その他第1条に規定する目的を達成するために必要な事項
(改廃)

第6条 この規程の改廃は教授会の議を経るものとする。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、平成29年6月1日から施行する。